

# 「ATR環境音データベースⅡ」の紹介

～耐雑音性能向上を目指して～

## 概要

「ATR環境音データベース」は、実環境で収録した雑音のデータを製品化したものです。2005年より一部公開していますが、2020年に新たに雑音の種類を増やし、長時間、高品質のデータをリリースします。雑音環境で利用する音声入力機器の開発や、雑音特徴分析、雑音モデル学習などに最適です。

## 特徴

- 地下通路、展示会場、バスターミナル、駅ホーム、電車内、体育館など、広範囲の環境で収録を行い、全部で70種類あります。
- 時間とともに変化する実環境雑音を連続的に収録しており、音声ファイルは合計約40時間(平均34分/種類)の長さがあります。
- 環境音データは、高感度のマイクロホンを使用し、48kHz、16bit、ステレオ音声で収録されており、多様な目的にご利用いただけます。

## 今後の展開

- ATRでは20年以上にもわたり音声翻訳研究が行われてきました。それら研究のために収集されたデータを、より多くの方にご利用いただけるよう、データを整備し、製品化を進めていきます。

## 対コロナへの関連

- コロナ対策や働き方改革によりリモートワークが増え、様々な環境で音声入力機能をもつ機器が使用されています。それら機器の、ノイズ対策に是非ご利用下さい。

## 収録場所



## 騒音の目安

騒音レベル (dB)	50～	55～	60～	65～	70～	75～	80～	85～	90～
環境	↔ 空港ロビー ↔ ホテルロビー ↔		↔ エレベータホール(会社) ↔		↔ 駅改札付近 ↔ 駅地下通路 ↔		↔ 飛行場付近 ↔ オートバイ走行音 ↔		↔ 道路工事(切削) ↔
	↔ 居室(会社) ↔				↔ 電車内走行音(在来線) ↔		↔ 板金工場 ↔		
	↔ ファミリーレストラン ↔		↔ 駅コンコース ↔		↔ 駅ホーム ↔		↔ ゲームセンター ↔		
	↔ 受付(会社) ↔		↔ バスターミナル ↔		↔ 森(セミ・鳥・エンジン音等) ↔		↔ 車道(産業用道路) ↔		↔ ボウリング場 ↔

連絡先:株式会社ATR-Promotions 担当:河野みちよ E-Mail:kono@atr-p.com

「ATR環境音データベース」は、(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR)音声言語コミュニケーション研究所の成果を、(株)ATR-Promotionsが改変し製品化したものです。